

WHOって何？

新型コロナウイルスに関わる報道で、右の写真の男性が何度も登場しました。この男性は、エチオピア出身のテドロス・アダノムさんで、**WHO**の事務局長（＝責任者）を務めている方です。「WHO」は、人々の健康のために1948年に設立された国際連合の専門機関で、本部はスイス・ジュネーヴにあります。1980年代には、日本人の中嶋宏さんが事務局長を務めたこともあります。



では、そもそも「WHO」は何かというと、日本語なら「世界保健機関」と呼びます。観察力の鋭いみなさんは、右上の写真を見て、ピンと来ていますよね。「世界保健機関」を英訳すると、「World Health Organization」となり、その頭文字をとって「WHO」と呼んでいるのです。

世の中には、こんなふうに長い言葉を短く表した略語がたくさん使われています。社会科の授業では、次のような略語が出てきます。日本語又は正式名に直してみましょう。

- | | | | |
|---------------|---|-------|---------------|
| ① N P O | = | _____ | ← 困った人を助けたり… |
| ② E U | = | _____ | ← ヨーロッパの国々が加盟 |
| ③ G D P | = | _____ | ← 国の豊かさを示します |
| ④ U N E S C O | = | _____ | ← 「ユネスコ」と呼びます |
| ⑤ ソ連 | = | _____ | ← 歴史の授業で出てきます |

最近では、

「ググる」＝グーグルなどのサーチエンジンを使って言葉や画像を検索すること

「OMG」＝ Oh, my God! 「なんてことだ!」「ヤバイ!」

といったものもインターネットやSNSでごく当たり前に使われています。少しでも短い時間で伝えようとする工夫なのでしょうね。「888888」で拍手の意味なんてよく考えたものです。

でも、本来の語句を知っていると、その意味がより理解できて、自分の考えや思いを正確に相手に伝えることにも役立ちます。これからもニュースや新聞で使われる略語やカタカナ表記の言葉に注目していきましょう！



「教科書」も「教科用図書」の略語だよ！